

# 福島第一原子力発電所の状況

平成 23 年 10 月 28 日  
東京電力株式会社

## <タービン建屋地下のたまり水の処理>

### 高濃度の放射性物質を含むたまり水の処理設備及び貯蔵設備の状況

#### [処理設備]

- ・6/17 20:00 放射性物質除去装置の本格運転を開始。
- ・6/24 12:00 淡水化装置(逆浸透膜型)における処理を開始。
- ・6/27 16:20 循環注水冷却を開始。
- ・8/7 16:11 蒸発濃縮装置の本格運用を開始。
- ・8/19 19:33 第二セシウム吸着装置(B系ライン)を起動し、セシウム吸着装置および除染装置との並列運転によるたまり水の処理を開始。19:41 定常流量に到達。
- ・10/26 淡水化装置(逆浸透膜型)において、10/8 に水漏れが確認された逆浸透膜濃縮移送ホースの取り替えを実施。
- ・10/27～28 淡水化装置(逆浸透膜型)2において、10/24 に軸封部より水漏れが確認された原水ポンプ(2-1スキッド用)の交換を実施。

#### [貯蔵設備]

- ・6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付中。

## トレンチ立坑・各建屋地下のたまり水の移送状況

号機	排出元 移送先	移送状況
2号機	・2号機タービン建屋 集中廃棄物処理施設[プロセス主建屋]	・10/20 10:12～10/28 9:32 移送実施
	・2号機タービン建屋 集中廃棄物処理施設[雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)]	・10/28 9:54～ 移送実施中
3号機	・3号機タービン建屋 集中廃棄物処理施設[雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)]	・10/20 10:00～10/28 9:16 移送実施
6号機	・6号機タービン建屋 仮設タンク	・10/28 移送なし
	・仮設タンク メガフロート	・10/28 10:00～16:00 移送実施

移送先	移送先の水位状況 (10/28 7:00 時点)
プロセス主建屋	水位: O.P.+ 3,722 mm(水位上昇累計: 4,939 mm) 10/27 7:00 から 78 mm 上昇
雑固体廃棄物減容処理建屋 (高温焼却炉建屋)	水位: O.P.+ 2,291 mm(水位上昇累計: 3,017 mm) 10/27 7:00 から 69 mm 下降

## トレンチ立坑・タービン建屋・原子炉建屋の水位 (10/28 7:00 時点)

	トレンチ立坑	タービン建屋	原子炉建屋
1号機	O.P. <+ 850 mm (10/27 7:00 と同じ)	O.P.+ 4,080 mm (10/27 7:00 から 53 mm 上昇)	O.P.+ 4,225 mm (10/27 7:00 から 46 mm 下降)
2号機	O.P.+ 2,857 mm (10/27 7:00 から 20 mm 下降)	O.P.+ 2,892 mm (10/27 7:00 から 18 mm 下降)	O.P.+ 2,983 mm (10/27 7:00 から 15 mm 下降)
3号機	O.P.+ 3,164 mm (10/27 7:00 から 11 mm 下降)	O.P.+ 2,919 mm (10/27 7:00 から 13 mm 下降)	O.P.+ 3,092 mm (10/27 7:00 から 11 mm 下降)
4号機	-	O.P.+ 2,960 mm (10/27 7:00 から 13 mm 下降)	O.P.+ 2,986 mm (10/27 7:00 から 12 mm 下降)

## <放射性物質のモニタリング>

海水核種分析結果(参考値) 10/24 採取分より、放射能濃度の検出限界値を下げる取り組みを開始。

採取場所	採取日	採取時間	濃度限度比(倍)		
			ヨウ素-131	セシウム-134	セシウム-137
福島第一 5～6号放水口北側約30m	10/27	8:50	ND	0.09	0.07
福島第一 1～4号放水口南側約330m	10/27	8:30	ND	0.02	0.02

・その他、10/27に採取した福島県沿岸2地点の海水における主要3核種(ヨウ素-131、セシウム-134,137)については全てND。

## <使用済燃料プールの冷却> (10/28 11:00時点)

号機	冷却方法	冷却状況	プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中(8/10 11:22～)	21.5
2号機	循環冷却システム	運転中(5/31 17:21～)	24.3
3号機	循環冷却システム	運転中(6/30 18:33～)	22.8
4号機	循環冷却システム	運転中(7/31 10:08～)	31

[4号機]・8/20～ 使用済燃料プール塩分除去装置の運転を開始。

## <原子炉压力容器への注入・原子炉の状況> (10/28 11:00時点)

号機	注入状況	給水ノズル温度	原子炉压力容器下部温度	原子炉格納容器圧力
1号機	淡水注入中 (給水系:約3.9 m <sup>3</sup> /h)	65.9	68.1	121.9 kPaabs
2号機	淡水注入中 (給水系:約2.9 m <sup>3</sup> /h,炉心スプレイ系:約6.9 m <sup>3</sup> /h)	72.6	77.5	121 kPaabs
3号機	淡水注入中 (給水系:約2.6 m <sup>3</sup> /h,炉心スプレイ系:約8.0 m <sup>3</sup> /h)	66.5	71.0	101.5 kPaabs

[1・2号機]・10/28 9:30 注水量の制御性向上のため、1号機原子炉注水ラインの流量調整弁追設作業に伴い、1号機および2号機の原子炉注水ラインを常用から非常用へ切り替え。

13:30 同作業終了に伴い、原子炉注水ラインを非常用から常用へ切り替え。なお、切り替えにあわせて注水量を、1号機(給水系:約3.9 m<sup>3</sup>/h)、2号機(給水系:約3.0 m<sup>3</sup>/h、炉心スプレイ系:約7.0 m<sup>3</sup>/h)へ調整。

[1号機]・10/28 16:10 1号機の蒸気発生抑制による放出放射能の抑制、カバーリング内作業環境の改善のため、給水系からの注水量を約4.5 m<sup>3</sup>/hへ変更。

[4号機][5号機][6号機] 特に変化なし。

## <その他>

- ・6/28～10/28 1号機原子炉建屋カバー設置に向けた本体工事完了。
- 8/10～9/9 カバー鉄骨組立を実施。
- 9/10～10/14 カバーのパネルの取付を実施。
- 10/15～10/28 カバー設置に関わる関連工事および原子力安全・保安院の確認を実施。
- ・10/7～ 伐採木の自然発火防止や粉塵の飛散防止を目的として、5,6号機滞留水浄化後の水を利用し、散水を継続実施中。
- ・10/27 協力企業にて使用済燃料共用プール建屋にある使用済燃料キャスク等を取り扱う天井クレーンの年次点検を行っていた際に、当該クレーンの走行用車軸の連結部ケーシングに割れが発生していることを確認。今後、当該連結部の状況等の詳細について、点検予定。
- ・10/28 12:53 2号機原子炉格納容器ガス管理システムにおいて、排気ファンを起動し、試運転を開始。
- ・10/28 14:20頃 当社社員1名が事務本館にて書類の確認作業中にマスクを締め過ぎたため気分が悪くなり、嘔吐した際に一時的に防護マスクを外したことから、念のため、今後、ホールボディカウンタを受検予定。

以上